

週間漁海況情報 2020年第38号

令和2年9月29日発行

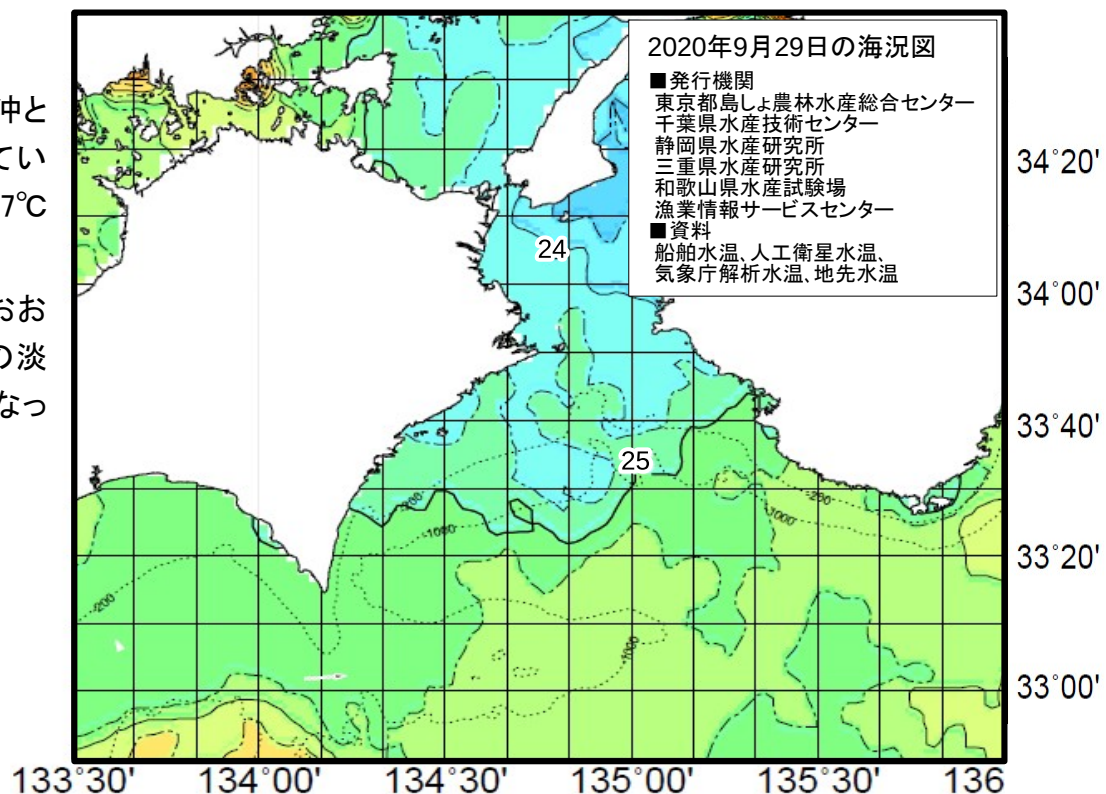
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は27℃台。

徳島周辺海域の水温はおおむね24℃台で、紀伊水道の淡路島の南東側で23℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

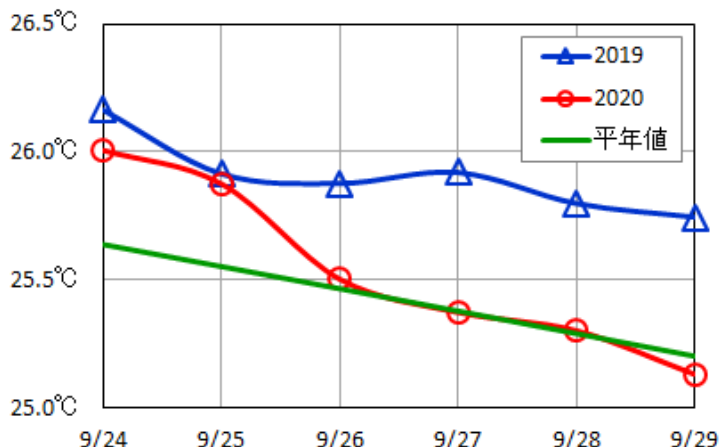
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(2020年9月24日～9月29日)

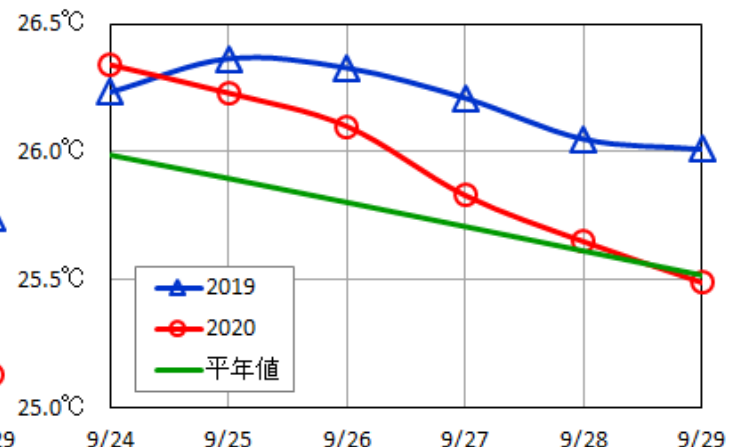
鳴門地区の水温は、「平年並み」の26.0℃～25.1℃で推移した。

日和佐地区の水温も、「平年並み」の26.2℃～25.2℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月30日～10月6日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」で推移する見込み。

鳴門地区の水温は「平年並み」～「やや高め」、日和佐地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 2020 年9月21日～9月27日

23日から24日にかけて沖を通過した台風12号による波浪等で、海部沿岸では操業が低調だった。

イセエビ建網は多くの地区で月夜休みに入り、10月中旬頃再開予定。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが大きく減って37.3ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが大きく減って特大主体に0.1ト水揚げされた。

延縄では、サワラが減って3.4ト、ハモが減って中主体に1.8ト、タチウオが特大主体に1.1ト、シマフグが増えて0.2ト、ブリが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが増えて3.2ト、ウスバハギが0.4ト、カンパチが減って0.3ト、マルアジが大きく増えて小主体に0.2ト、マサバが増えて小小主体に0.2ト、マアジが小小主体に0.2ト、マダイが大きく減って0.1ト、えい類が大きく増えて大主体に0.1ト、ヘダイが増えて0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って中主体に2.3ト、えそ類が増えて0.4ト、タチウオが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、カツオが減って5.9ト、タチウオが減って0.8ト、キハダが大きく減って0.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※	
					1日1隻あたり 平均漁獲量			
紀伊水道	船びき網	49	シラス	37,250	760		↘↘	
	釣り	10	タチウオ	136	14	特大主体	↘↘	
	延縄	62	サワラ	3,416	55		↘	
		20	ハモ	1,808	90	中主体	↘	
		52	タチウオ	1,064	20	特大主体	→	
		35	シマフグ	233	7		↗	
		7	ブリ	143	20		↗↗	
		小型定置網	15	ブリ	3,239	216		↗
	18		ウスバハギ	361	20		→	
	17		カンパチ	305	18		↘	
	11		マルアジ	212	19	小主体	↗↗	
	5		マサバ	210	42	小小主体	↗	
	16		マアジ	207	13	小小主体	→	
	17		マダイ	135	8		↘↘	
	2		えい類	105	53	大主体	↗↗	
	14		ヘダイ	103	7		↗	
	底びき網		29	ハモ	2,328	80	中主体	↘
			22	えそ類	437	20		↗
		22	タチウオ	255	12		↗↗	
	海部沿岸	釣り	7	カツオ	5,942	849		↘
20			タチウオ	755	38		↘	
4			キハダ	234	59		↘↘	
建網		63	カワハギ	130	2		↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘